

★ ★ ★
Made in Kushima
逸品ストーリー

飢肥杉から生まれた、自然の積み木「オビツタ」

南那珂森林組合



端節(はぶし)と呼ばれる小さな年輪のような模様があるのも飢肥杉の特徴です。



柔らかく手に馴染む質感と、木のいい香り。「オビツタ」は人にも環境にもやさしい、飢肥杉からできた積み木です。

「地元の資源である飢肥杉を、もっと身近に使うて欲しいですね」と話してくれたのは、南那珂森林組合の匹田翔さん。宮崎県は杉の生産が日本一。そのほとんどの原種が飢肥杉と言われています。油分が多く弾力性のある特長を利用して、昭和初期まで造船材として使われてきました。

10年程前に地域資源を活かした街づくりや情報の発信を目指し、飢肥杉デザイン会が発足されました。日南市にある『オビダラリー』にはレーザー加工によってデザインされたはぎやアクセサリーなど、飢肥杉を使った商品が数多く販売されています。

「山は循環する資源、それを守っていくことの大切さを伝えたいです」と匹田さん。市内で毎年4月末から5月初旬に開催される『春の農林水産祭り』では、子どもたちが『オビツタ』で遊ぶスペースを設けました。遊びを通じて、少しでも森林に興味を持つてもらうことが目的です。

ふるさと納税の返礼品としても人気のある『オビツタ』。自然の恵みを感じながら、みんなで楽しんでみませんか。